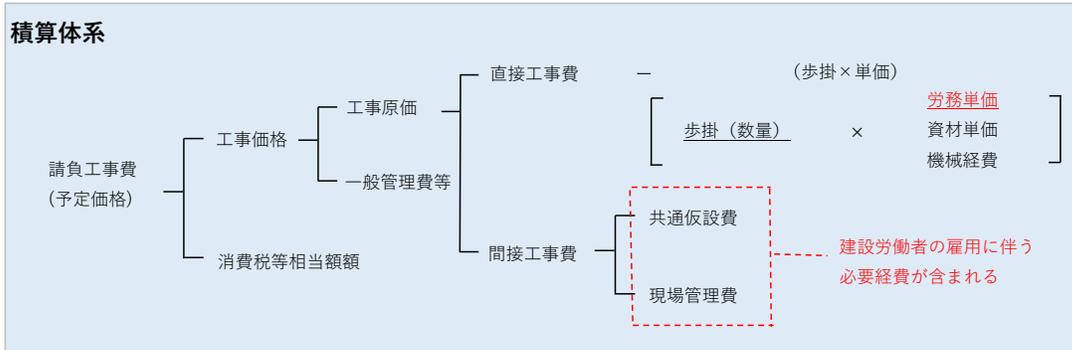


建設労働者の雇用に伴う必要経費を含む金額の参考公表【札幌市】

公共工事設計労務単価とは

- ・公共工事設計労務単価は、国、自治体等が公共工事の予定価格を積算する際に用いる単価。
- ・建設技能者の賃金相当額であって、建設労働者の雇用に伴う賃金以外の必要経費分は含まれていない。(必要経費分は、別途、共通仮設費、現場管理費の項目で積算される)

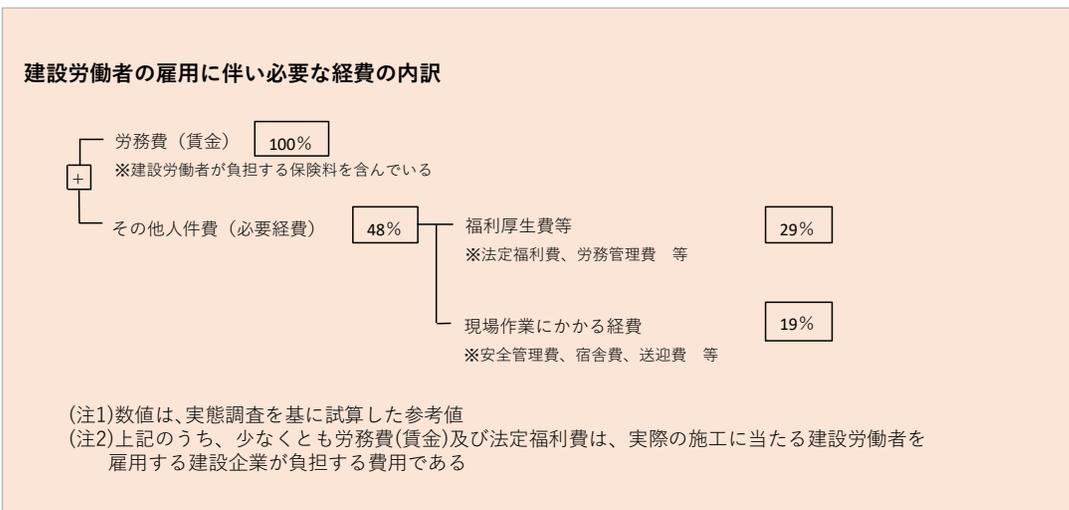
※建設労働者の雇用に伴う必要経費：法定福利費、労務管理費、安全管理費など



※出典：国土交通省ホームページ

現状における課題

- ・建設技能者が受け取る賃金をもとに設定している公共工事設計労務単価が、建設労働者の雇用に伴い必要な賃金以外の経費を含んだ金額と誤解され、必要経費分の値引きを強いられる結果、建設労働者に支払われる賃金が低く抑えられているとの指摘がある。(事業主が下請代金に必要な経費分を計上しない、又は下請代金から必要経費を値引くことは不当行為となる。)



※出典：国土交通省ホームページ

- 1 公共工事設計労務単価（上段）は、公共工事の工事費の積算に用いるためのものです。
- 2 本単価は、所定労働時間内8時間当たりの単価です。
- 3 時間外、休日及び深夜の労働についての割増賃金、各職種の通常の作業条件または作業内容を超えた労働に対する手当等は含まれていません。
- 4 公共工事設計労務単価は、労働者に支払われる賃金に係わるものであり、現場管理費（法定福利費（事業主負担分）、研修訓練等に要する費用等）及び一般管理費等の諸経費は含まれていません。
(例えば、交通誘導警備員の単価については、警備会社に必要な諸経費は含まれていません。)
- 5 法定福利費（事業主負担分）、研修訓練等に要する費用等は、積算上、現場管理費等に含まれています。
- 6 建設労働者の雇用に伴って必要となる、法定福利費（事業主負担分）、労務管理費、安全管理費、宿舍費等を、公共工事設計労務単価に加算した金額（参考値）を、下段に括弧書きで示しています。
これらの必要経費は、公共工事の予定価格の積算においては、共通仮設費、現場管理費の中に計上されています。
この金額は全国調査をもとに試算した参考値であり、工種、工事規模等の条件により変動します。
また、遠隔地からの労働者の流入を想定したものではありません。
- 7 この表は、「令和8年3月から適用する公共工事設計労務単価」に対応するものです。

北 海 道									
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 上段：公共工事設計労務単価 〔 参考値 〕 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 5px;"> 〔 下段 〕：公共工事設計労務単価+必要経費（法定福利費（事業主負担）、労務管理費、宿泊費等） 〔 参考値 〕 </div>									
特殊作業員	26,000	鉄骨工	30,600	トンネル世話役	46,900	山林砂防工	—	サッシ工	29,700
	(38,400)		(45,200)		(69,300)		—		(43,900)
普通作業員	21,500	塗装工	30,100	橋りょう特殊工	35,500	軌道工	36,100	屋根ふき工	—
	(31,800)		(44,500)		(52,400)		(53,300)		—
軽作業員	19,200	溶接工	32,500	橋りょう塗装工	39,300	型わく工	28,200	内装工	28,600
	(28,400)		(48,000)		(58,000)		(41,700)		(42,200)
造園工	24,400	運転手（特殊）	27,100	橋りょう世話役	46,500	大工	—	ガラス工	27,600
	(36,000)		(40,000)		(68,700)		—		(40,800)
法面工	32,500	運転手（一般）	21,900	土木一般世話役	29,900	左官	30,900	建具工	28,200
	(48,000)		(32,300)		(44,200)		(45,600)		(41,700)
とび工	30,000	潜かん工	41,500	高級船員	33,500	配管工	26,700	ダクト工	25,700
	(44,300)		(61,300)		(49,500)		(39,400)		(38,000)
石工	—	潜かん世話役	50,900	普通船員	27,500	はつり工	31,400	保温工	29,000
	—		(75,200)		(40,600)		(46,400)		(42,800)
ブロック工	—	さく岩工	—	潜水士	50,500	防水工	33,300	設備機械工	28,700
	—		—		(74,600)		(49,200)		(42,400)
電工	29,100	トンネル特殊工	46,600	潜水連絡員	33,300	板金工	31,200	交通誘導警備員A	18,700
	(43,000)		(68,800)		(49,200)		(46,100)		(27,600)
鉄筋工	30,200	トンネル作業員	34,400	潜水送気員	31,300	タイル工	26,600	交通誘導警備員B	15,500
	(44,600)		(50,800)		(46,200)		(39,300)		(22,900)

※この表は、国土交通省ホームページに掲載されているもののうち、北海道分を抜粋したものである。